

都市再生整備計画 事後評価シート  
基山町中心市街地地区

令和3年1月

佐賀県基山町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県		市町村名	基山町		地区名	基山町中心市街地地区			面積	106.9ha		
交付期間	平成30年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	100.0	国費率	0.429				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	基山駅前ロータリー整備、基山駅前自転車駐輪場整備、街なみ案内サイン事業、基山モール商店街への通り抜け道路整備									
			提案事業	モール商店街にぎわいづくり事業、空き店舗活用チャレンジショップ事業、事業効果分析									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし	削除/追加の理由		-						
			提案事業	なし	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		-						
	新たに追加した事業		基幹事業	なし	削除/追加の理由		-						
			提案事業	なし	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		-						
交付期間の変更		当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
		変更	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	定住人口の増加	人	17,360	H29	17,941	R2	-	17,385	△	あり	地域優良賃貸住宅の整備等により中心市街地の人口は増加したが、町の人口は微増で、目標値には達しなかった。	R3.4
	指標2	空き店舗数の減少	件	29	H28 (R2推計値)	19	R2	-	17	○	あり	空き店舗活用チャレンジショップ事業等により、新規出店が促進され、空き店舗の減少につながった。	R3.11
指標3	基山モール商店街入込客数の増加	人/日	400	H26	600	R2	-	785	○	あり	空き店舗活用チャレンジショップ事業や、モール商店街にぎわいづくり事業等により、商店街入込客数が増加した。	R3.12	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	中心市街地の人口	人	4,268	H28		-	4,673			子育て・若者世帯向け地域優良賃貸住宅整備事業等により居住・移住者が増加し、人口が増加した。	R3.4	
その他の数値指標2	特定健診の受診率	%	38.4	H26		-	51.7			関連事業の基山スマートウェルネス事業(商店街と連携した健康ポイントの付与)実施により、従前よりも健診受診率の増加・定着が図られ、商店街を来訪するきっかけが出来た結果、商店街のにぎわい向上に寄与した。	R3.4		
4)定性的な効果発現状況													
<p>①地方自治の伸展及び住民の福祉の増進に努めた団体等が表彰される「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞した。(H29.11)</p> <p>②「地方再生コンパクトシティ」モデル都市に全国の中で唯一選定(H30.3)され、都市のコンパクト化と地域の稼ぐ力の向上のため、都市再生整備計画事業(基山駅前整備、賑わいの創出)と、基山スマートウェルネス事業等の総合的に取り組んだ結果、官民連携が強化され、商店街のにぎわい創出や定住人口が増加し、多世代が同居する持続可能なまちづくりが実現された。</p> <p>③「中心市街地活性化計画」の認定(H30.3)を受け、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進しており、都市再生整備計画事業等と併せて各種ソフト事業に官民連携で取り組んだ結果、空き店舗数の減少やイベント来場者数等の増加につながっている。</p> <p>④「歴史的風致維持向上計画」の認定(H31.1)を受け、基山町らしい歴史的風致の維持向上による地域の特性を活かしたまちづくりに取り組む中で、基山駅前の長崎街道沿いの地域に住む住民等により構成された木山口町まちづくり協議会を設置したことで、まちなかに残る歴史的市街地の保全だけでなく、駅前のにぎわいづくりについて協議する場が増え、まちづくりの機運が高まっている。</p>													
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた							
	住民参加プロセス		<ul style="list-style-type: none"> <li>基山駅前自転車駐輪場整備に関する調整</li> <li>基山モール商店街への通り抜け道路整備に関する調整</li> <li>基山駅前ロータリー広場整備に関する調整</li> </ul>			都市再生整備計画に記載し、実施できた			<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も町民と行政協働により適正な維持管理・活用を図る。</li> <li>今後も関連する組織と調整を図ることで、工事期間中の安全性・利便性に配慮した事業の円滑な実施に努める。</li> </ul>				
	持続的なまちづくり体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>「モール商店街にぎわいづくり事業(商店街のイベントの企画・運営を基山町商工会と協働し実施)</li> <li>空き店舗活用チャレンジショップ事業(基山町商工会、(株)まちづくり基山と連携し、空き店舗活用に向けた調査、支援等の実施)</li> <li>基山スマートウェルネス事業(久留米大学と連携し、町民の健康促進等を図る。)</li> <li>基山スマートウェルネス事業(基山シール会と連携し、健康増進活動を買い物ポイントに変換できる取組みにより、町民の健康促進等を図る。)</li> <li>基山スマートウェルネス事業(高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するため基山町商工会、基山町産業振興協議会と連携し、基山産農産物の普及イベントを通じて高齢者の外出機会の確保と消費拡大を図る。)</li> </ul>			都市再生整備計画に記載し、実施できた			<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の賑わいを高めるための活動への支援を継続する。</li> <li>空き店舗の減少に向けた活動への支援を継続する。</li> <li>町の健康ブランド化及び町民の健康促進につながる取組みの連携を継続し、健康で生きがい創生のまちづくり(=健康のまちづくり)の実現を推進する。</li> <li>商店街の販売促進、町の健康ブランド化及び町民の健康促進につながる取組みの連携を継続する。</li> <li>基山産農産物普及イベントによる飲食店メニューの開発や町内外の交流促進を図る活動への支援を継続する。</li> </ul>				
					都市再生整備計画に記載し、実施できなかった								

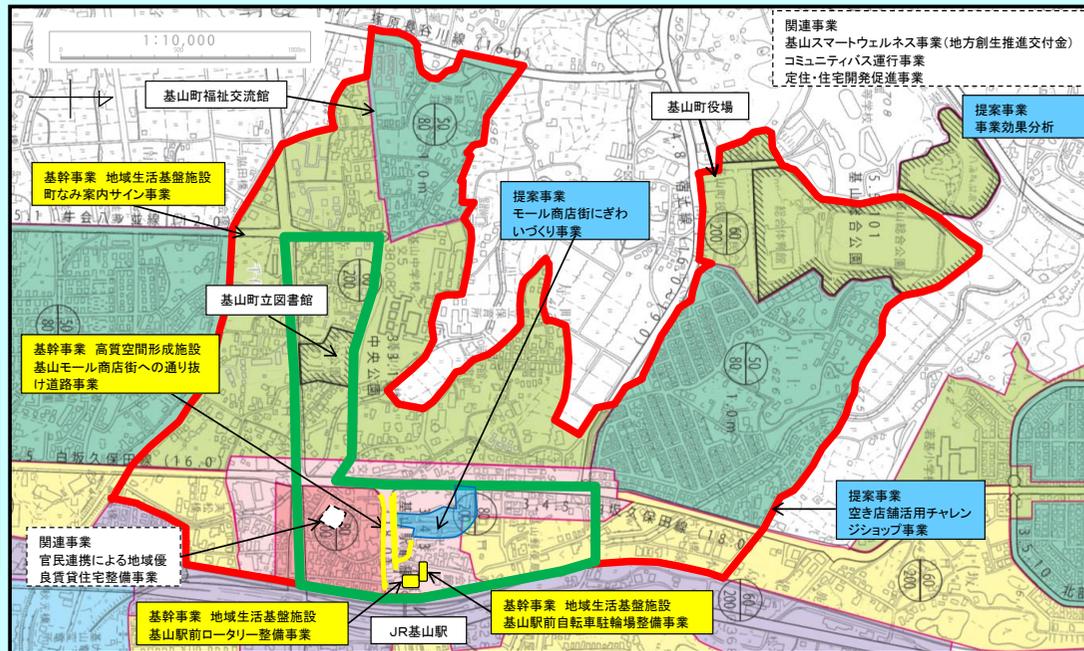
## 様式2-2 地区の概要

基山町中心市街地地区(佐賀県基山町) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
日常的に基山駅を利用している7,000人(町人口の約40%)の通勤・通学者を新たな商圏人口として捉え、町内で活動している高齢者等と併せてまちなかへ誘導することで、中心市街地を人が行き交う活気あふれる稼げる場に再生し、駅周辺の生活環境の高まりや多世代が同居する多様な移住政策の好循環による人口増を視野に入れながら、今後高齢化が急速に進む都市の勝ち組モデルとなるような持続可能なまちづくりの実現を目指す。 ・新たな商圏人口の獲得 ・駅周辺の生活環境の向上 ・人が行き交う活気あふれる稼げる場への再生	定住人口の増加	単位:人	17,360	H29	17,941	R2	17,385	R2.6
	空き店舗数の減少	単位:件	29	H28 (R2推計値)	19	R2	17	R1
	基山モール商店街入込客数の増加	単位:人/日	400	H26	600	R2	785	R2
	中心市街地の人口	単位:人	4,268	H28			4,673	R2.6
	特定健診の受診率	単位:%	38.4	H26			51.7	R1

町なみ案内サイン(デジタルサイネージ、案内サイン)



モール商店街にぎわいづくり事業(イベントの様子)



基山駅前ロータリー



基山駅前自転車駐輪場



### まちの課題の変化

- ・中心市街地の人口が増加し、より多世代が交流する居住環境の形成が図られた。一方で、中心市街地の人口増加を上回る、郊外部の人口減少に歯止めをかける必要がある。
- ・モール商店街におけるイベント開催等により人々が交流する機会が創出され、住民や来訪者の交流が促進された。
- ・バス等の運行がより安全・円滑になり、歩行者・利用者の安全性・利便性も向上した。
- ・基山駅前の路上駐輪の改善や、誘導サイン等の整備により、モール商店街やまちなかへ訪れやすい環境が整備された。
- ・モール商店街におけるイベント開催や基山スマートウェルネス事業に参加して付与された健康ポイント利用者が商店街を利用するようになったこと等により、来訪者が増加し、人々の交流が促進されにぎわいが増した。
- ・商店街等への来訪機会創出により、まちなかへの誘導が促進された。
- ・町の顔となる駅前空間の魅力と利用者の安全性・利便性が向上し、来訪者のまちなかへの誘導が促進された。一方で、駅前広場の利便性が高まったことで、送迎用駐車スペースの目的外利用が発生することがあるため、適正利用を促す必要がある。

### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・持続的なイベントの開催等、住民交流機会の創出を図る。
- ・駅前ロータリー広場、駐輪場等の適切な維持管理に努める。
- ・分かりやすい情報案内等によりまちなかへの誘導をスムーズにする。
- ・空き店舗削減に向けた取り組みを継続する。
- ・商店街等における持続的なイベントの開催や、商店街を訪れる高齢者を対象とした健康増進イベントを新たに実施することにより、賑わいの創出を図る。
- ・医療・福祉、住宅等について、高齢になっても安心・健康に住み続けやすい環境整備を進める。
- ・現在、立地適正化計画を策定中であり、町全体として人口を維持するエリアの設定について検討する。
- ・郊外部では集落維持の観点からも農林業の維持管理の強化を推進する。
- ・送迎用駐車スペースを適正利用してもらうため調査研究を継続する。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9—有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無  
0.384

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		○	—	—	—
C. 目標値		○	—	—	—
D. その他( )		○	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	基山駅前ロータリー整備	32	3,000㎡	32	3,000㎡	—	—	●	
地域生活基盤施設	基山駅前自転車駐輪場整備	20	170㎡	20	170㎡	—	—	●	
地域生活基盤施設	街なみ案内サイン事業	15	9基	15	9基	—	—	●	
高質空間形成施設	基山モール商店街への通り抜け道路整備	23	440m	23	440m	—	—		●
高次都市施設									
中心拠点誘導施設(都市再構築戦略事									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
工地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	定住人口の増加	人	住民基本台帳より、基山町の令和2(2020)年6月末時点における総人口を集計する。	17,749	H22	17,360	H29	17,941	R2	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
										事後評価	確定見込み ●	17,385	事後評価	△		
指標2	空き店舗数の減少	件	令和元年10月末に基山町商工会が集計した4商店街(基山モール商店街協同組合、けやき通り商店会、木山口商店会、9区ふれあい商店会)の空き店舗数を確認する。	23	H20	29	H28 (R2推計値)	19	R2	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定見込み ●	17	事後評価	○		
指標3	基山モール商店街入込客数の増加	人/日	令和2年11月に基山町が実施するアンケート調査により入込客数を確認する。	-	-	400	H26	600	R2	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定見込み ●	785	事後評価	○		
										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	従前値から微増であり、目標未達成の状況であるが、減少傾向から増加傾向に転じており一定の効果が得られた。中心市街地においては地域優良賃貸住宅建設や民間の宅地開発により人口が増加している。	今回事業を実施した区域は中心市街地であり、町全体を指標の対象区域としたため、効果が薄まって表現されている。このため、指標の対象区域設定に課題があったと考えられる。
指標2	基山モール商店街での空き店舗活用チャレンジショップ事業(空き店舗対策支援、新規事業出店3件)等の効果により、空き店舗数は減少し、目標値に達成した。	-
指標3	基山モール商店街での空き店舗活用チャレンジショップ事業(空き店舗対策支援、新規事業出店3件)や、モール商店街にぎわいづくり事業等の効果により、商店街入込客数が増加し、目標値を達成した。	-

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
				基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	中心市街地の人口	人	住民基本台帳より、中心市街地(行政区3区、9区、12区の市街化区域)の令和2(2020)年6月末時点の人口を集計する。	3,864	H22	4,268	H28	モニタリング	—	—	駅周辺の生活環境向上に係る事業効果発現を確認する指標として取り上げる。	—
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の数値指標2	特定健診の受診率	%	各年度の特定検診の受診率を把握する。	—	—	38.4	H26	モニタリング	—	—	関連事業の基山スマートウェルネス事業(特定健診受診等により健康ポイントを付与、付与された健康ポイントは商店街で使えるお買い物ポイントに交換)実施により、特定健診受診者の商店街来訪機会が増えるため、商店街活性化に寄与する指標として取り上げる。	—
								事後評価	確定 見込み	●		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ① 地方自治の伸展及び住民の福祉の増進に努めた団体等が表彰される「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞した。(H29.11)
- ② 「地方再生コンパクトシティ」モデル都市に全国の町で唯一選定(H30.3)され、都市のコンパクト化と地域の稼ぐ力の向上のため、都市再生整備計画事業(基山駅前の整備、賑わいの創出)と、基山スマートウェルネス事業等の総合的に取り組んだ結果、官民連携が強化され、商店街のにぎわい創出や定住人口が増加し、多世代が同居する持続可能なまちづくりが実現された。
- ③ 「中心市街地活性化計画」の認定(H30.3)を受け、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進しており、都市再生整備計画事業等と併せて各種ソフト事業に官民連携で取り組んだ結果、空き店舗数の減少やイベント来場者数等の増加につながっている。
- ④ 「歴史的風致維持向上計画」の認定(H31.1)を受け、基山町らしい歴史的風致の維持向上による地域の特性を活かしたまちづくりに取り組む中で、基山駅前の長崎街道沿いの地域に住む住民等により構成された木山口町まちづくり協議会を設置したことで、まちなかに残る歴史的市街地の保全だけでなく、駅前のにぎわいづくりについて協議する場が増え、まちづくりの機運が高まっている。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
基山駅前自転車駐輪場整備に関する調整	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	●【実施頻度・時期】1回・令和元年11月 【結果】駅前駐輪場が長崎街道沿いに位置するため、歴史まちづくり団体の代表に相談し、施設の色は歴史的風致を損なわないような落ち着いた色(茶色)を採用した。	今後も町民と行政との協働により適正な維持管理・活用を図る。
基山モール商店街への通り抜け道路整備に関する調整	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	●【実施頻度・時期】3回・令和2年8月、9月、10月 【結果】基山駅からモール商店街への通り抜け道路の整備において、整備内容(路面の色)について基山町商工会、基山モール商店街組合へ意見を聴取しながら検討を行った。	
基山駅前ロータリー整備に関する調整	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	●【実施頻度・時期】1回・平成31年1月 【対象】駅前ロータリーに乗入れている企業・学校等 【結果】①工事に伴う乗降場所・時間の調整・変更 ②整備内容の要望聴取	

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等	
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要		
モール商店街にぎわいづくり事業(商店街のイベントの企画・運営を基山町商工会と協働し実施)	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	●	<p>商店街でのイベントの企画、運営等を行った。</p> <p>・H30年度 イベント3回、調査3回実施</p> <p>・H31年度 イベント5回、調査4回実施</p> <p>・R2年度 イベント実施予定</p>	<p>「基山町商工会」</p> <p>商店街のにぎわい創出に向けたイベントの企画・運営や、空き店舗の減少・活用、新規出店に向けた調査及び事業事務局等を担う。</p>	<p>中心市街地の賑わいを高めるための活動への支援を継続する。</p>
空き店舗活用チャレンジショップ事業(基山町商工会、(株)まちづくり基山と連携し、空き店舗活用に向けた調査、支援等の実施)	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	●	<p>中心市街地における空き店舗活用に向けた調査や空き店舗対策支援を基山町商工会が中心となって行った。</p> <p>・H30年度 アンケート調査実施</p> <p>・H31年度 アンケート、ヒアリング調査、空き店舗対策支援 ※アンケートはまちづくり基山が実施</p>	<p>「基山町商工会」</p> <p>「(株)まちづくり基山」</p> <p>商店街のにぎわい創出に向けたイベントの企画・運営や、空き店舗の減少・活用、新規出店に向けた調査及び事業事務局等を担う。</p>	<p>空き店舗の減少に向けた活動への支援を継続する。</p>
基山スマートウェルネス事業(久留米大学と連携し、町民の健康促進等を図る。)	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	●	<p>住民健診等の結果を活用して詳細な分析を実施し、町民の健康意識向上に効果的な施策への提言を行った。</p>	<p>「久留米大学」</p> <p>基山町と健康に関連する取組みで連携を行っている。</p>	<p>町の健康ブランド化及び町民の健康促進につながる取組みの連携を継続し、健康で生きがい創生のまちづくり(=健康のまちづくり)の実現を推進する。</p>
基山スマートウェルネス事業(基山シール会と連携し、健康増進活動を買い物ポイントに変換できる取組みにより、町民の健康促進等を図る。)	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	●	<p>町が実施する健康診断の受診や介護予防事業、健康増進事業に参加した高齢者に付与された健康ポイントを、基山シール会が管理する「きのくにポイント」に交換、活用できる取組みの実施。</p>	<p>「基山シール会」</p> <p>基山町内加盟店での買い物でポイントが貯まるシステムを構築し、管理している。</p>	<p>商店街の販売促進、町の健康ブランド化及び町民の健康促進につながる取組みの連携を継続する。</p>
基山スマートウェルネス事業(高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するため基山町商工会、基山町産業振興協議会と連携し、基山産農産物の普及イベントを通じて高齢者の外出機会の確保と消費拡大を図る。)	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	●	<p>特色ある基山産の農産物の普及イベントを実施し、基山産農産物の紹介や消費拡大とともに高齢者の外出機会の創出を図った。</p>	<p>「基山町商工会」</p> <p>「基山町産業振興協議会」</p> <p>基山町の農業者、商業者等で組織した協議会で、各種イベントの主催等を実施し、産業振興全般についての活動を行う。</p>	<p>基山産農産物普及イベントによる飲食店メニューの開発や町内外の交流促進を図る活動への支援を継続する。</p>

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断組織による 都市再生整備計画事業事後評価のための 地方再生コンパクトシティ担当者会議	定住促進課、建設課、総務企画課、産業振興課、 健康増進課、まちづくり課、福祉課	令和2年9月14日	定住促進課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標2		指標3		その他の数値指標1		その他の数値指標2	
		指標改善への貢献度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
			空き店舗数の減少		基山モール商店街入込客数の増加		中心市街地の人口		特定健診の受診率
基幹事業	基山駅前ロータリー整備	○	・空き店舗活用チャレンジショップ事業により、アンケート調査や空き店舗対策支援など空き店舗減少に向けた環境が整えられたことで、新規出店が促進され、直接的に空き店舗の減少につながった。 ・モール商店街にぎわいづくり事業等によるイベント開催により、商店街への来客増加・賑わいの創出、新規顧客開拓の機会が生まれ、空き店舗数の減少に直接的に寄与したと考えられる。 ・駅前ロータリー広場整備、自転車駐輪場整備、町なみサイン設置等により、歩きやすい空間の創出と利便性向上が図られたことで、商店街の活性化や空き店舗数の減少に間接的に寄与したと考えられる。	○	・空き店舗活用チャレンジショップ事業による店舗数の増加や、モール商店街にぎわいづくり事業、基山町スマートウェルネス事業の健康マイレージ制度等により、商店街の利用動機が生まれた結果が直接的な要因となり、入込客数の増加につながった。 ・駅前ロータリー広場整備、自転車駐輪場整備、町なみサイン設置等により、歩きやすい空間の創出と利便性向上が図られたことが、間接的に入込客増加に寄与したと考えられる。	○	・子育て・若者世帯向け地域優良賃貸住宅整備事業や民間の宅地開発等により居住・移住者が増加し、直接的に人口の増加へ繋がった。 ・住宅取得や家賃等に係る補助の活用により、住宅取得および居住が促進され、直接的に人口増加に寄与した。 ・駅前ロータリー広場整備による動線の整理及び安全性の確保と、コミュニティバスの定時運行による利便性の向上等により、生活空間の快適性向上が図られ、間接的に人口増加に寄与していると考えられる。	○	・基山町スマートウェルネス事業の健康マイレージ制度により、特定健診を受けることで、商店街での買い物ポイントに交換できる健康ポイント付与ができるようになったことが、受診率向上に直接的に寄与している。 ・また、空き店舗活用チャレンジショップ事業により、新規出店が促進されたほか、モール商店街にぎわいづくり事業等によるイベント開催により商店街の魅力が向上した。 あわせて、駅前ロータリー広場整備、駅周辺での人口増加策に取り組んだこと等により、商店街への来訪しやすさが高まり、ポイントの利用機会が増進したことが間接的に寄与したと考えられる。
	基山駅前自転車駐輪場整備	○		○		○			
	街なみ案内サイン事業	○		○		○			
	基山モール商店街への通り抜け道路整備	○		○		○			
提案事業	モール商店街にぎわいづくり事業	◎		◎		○		○	
	空き店舗活用チャレンジショップ事業	◎		◎		○			
	事業効果分析	-		-		-			
関連事業	基山町スマートウェルネス事業(地方創生推進交付金)	○		◎		○		◎	
	コミュニティバス運行事業	○		○		○			
	官民連携による地域優良賃貸住宅整備事業	○		○		◎			
	定住・住宅開発促進事業	○		○		◎			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	空き店舗活用チャレンジショップ事業及びモール商店街にぎわいづくり事業の継続により、空き店舗の減少と集客アップを図る。	空き店舗活用チャレンジショップ事業及びモール商店街にぎわいづくり事業、基山町スマートウェルネス事業の継続により、モール商店街入り込み客の増加を図る。	本事業で整備した住宅や駅前ロータリー広場等について、適切な維持管理を継続していくことにより、まちの魅力と住みやすさを維持・向上を図る。	基山町スマートウェルネス事業を継続し、住民が主体的に健康増進に取り組むことで、プラチナ世代が充実した暮らしを送ることができる、「健幸のまち基山」の定着に繋げる。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1											
指標名		定住人口の増加											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	基山駅前ロータリー整備	△	・地域優良賃貸住宅の整備や定住開発促進事業等の推進により中心市街地の人口は増加したが、自然減に起因する郊外部の人口が減少しており、町の人口としては従前値から微増の結果となり、目標値には達しなかった。	I									
	基山駅前自転車駐輪場整備	△											
	街なみ案内サイン事業	△											
	基山モール商店街への通り抜け道路整備	△											
提案事業	モール商店街にぎわいづくり事業	△											
	空き店舗活用チャレンジショップ事業	△											
	事業効果分析	-											
関連事業	基山町スマートウェルネス事業(地方創生推進交付金)	△											
	コミュニティバス運行事業	△											
	官民連携による地域優良賃貸住宅整備事業	△											
	定住・住宅開発促進事業	△											

※目標未達成への影響度  
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。  
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>・中心市街地の人口増加は達成されたが、郊外部の減少の歯止めをかける必要がある。現在、立地適正化計画を策定中であり、町全体として人口を維持するエリアの設定について検討する。</p> <p>・本事業で整備した駅前ロータリー等について、適切な維持管理を継続していくことにより、まちの魅力と住みやすさを維持・向上を図る。</p> <p>・地方再生コンパクトシティ事業等における推進中の施策を着実に実施することで、まちの魅力と住みやすさの向上を図り、人口増加に向け取り組んでいく。</p>
------------------	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断組織による 都市再生整備計画事業事後評価のための 地方再生コンパクトシティ担当者会議	定住促進課、建設課、総務企画課、産業振興課、健康増進課、まちづくり課、福祉課	令和2年10月13日	定住促進課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
住民の交流機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の人口が増加し、より多世代が交流する居住環境の形成が図られた。</li> <li>・モール商店街におけるイベント開催等により人々が交流する機会が創出され、住民や来訪者の交流が促進された。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の人口増加を上回る、郊外部の人口減少に歯止めをかける必要がある。</li> <li>・駅前広場の利便性が高まったことで、送迎用駐車スペースの目的外利用が発生することがあるため、適正利用を促す必要がある。</li> </ul>
駅付近の利便性の向上、安全性の確保、商店街へのスムーズな誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス等の運行がより安全・円滑になり、歩行者・利用者の安全性・利便性も向上した。</li> <li>・基山駅前の路上駐輪の改善や、誘導サイン等の整備により、モール商店街やまちなかへ訪れやすい環境が整備された。</li> </ul>	—	
基山駅周辺の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モール商店街におけるイベント開催や健康ポイント利用者が商店街を利用するようになったこと等により来訪者が増加し、人々の交流が促進されにぎわいが増した。</li> <li>・空き店舗削減対策や新規出店の促進などにより、商店街のにぎわいが増した。</li> </ul>	—	
JR基山駅利用の通勤・通学者のまちなかへの誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等への来訪機会創出により、まちなかへの誘導が促進された。</li> <li>・町の顔となる駅前空間の魅力と利用者の安全性・利便性が向上し、来訪者のまちなかへの誘導が促進された。</li> </ul>	—	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業(例)
A欄 効果を持続させるため に行う方策	住民の交流機会の創出	・持続的なイベントの開催等、住民交流機会の創出を図る。	・基山定住サブライズプロジェクト(第5次基山町総合計画) ・まちの交流拠点整備活用事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・関係人口創出・拡大事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略)
	駅付近の利便性の向上、安全性の確保、商店街へのスムーズな誘導	・駅前ロータリー広場、駐輪場等の適切な維持管理に努める。 ・分かりやすい情報案内等によりまちなかへの誘導をスムーズにする。	・適切なロータリー広場、駐輪場等の維持管理 ・おもてなし環境整備事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略)
	基山駅周辺の活性化	・持続的なイベントの開催や、商店街を訪れる高齢者を対象とした健康増進イベントを新たに実施することにより、賑わいの創出を図る。 ・空き店舗削減に向けた取組みを継続する。	・基山ブランディングプロジェクト(第5次基山町総合計画) ・まちなか資源活用事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・まちなかにぎわい創出施設整備事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・基山町スマートウェルネス事業 ・健康増進イベントの実施(例:高齢者向け健康教室など)
	JR基山駅利用の通勤・通学者のまちなかへの誘導	・商店街等におけるイベントの開催等により、商店街来訪の機会創出、新規顧客拡大を図る。 ・駅前ロータリー広場、駐輪場等の適切な維持管理に努める。	・基山ブランディングプロジェクト(第5次基山町総合計画) ・まちの観光資源活用事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	郊外部における人口減少の抑制	・医療・福祉、住宅等について、高齢になっても安心・健康に住み続けやすい環境整備を進める。 ・現在、立地適正化計画を策定中であり、町全体として人口を維持するエリアの設定について検討する。 ・郊外部では、集落維持の観点からも農林業の維持管理の強化を推進する。	・基山町スマートウェルネス事業 ・コンパクトシティ推進事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・コミュニティバス利用促進事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・町内住み替え支援事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・ユニバーサル生活推進事業(基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略) ・立地適正化計画に基づく施策(検討中) ・農地集積や若者の新規参入の推進(基山町農業振興地域整備計画)
	送迎用駐車スペースの適正利用	・送迎用駐車スペースの適正利用に向けた調査研究を継続する。	・送迎用駐車スペースの運用管理の改善、利用者への啓発活動の検討

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

**添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見**

事業効果を継続したり、より高めるため、商店街内の連携を高めることが必要であるとの意見が、委員から寄せられている。

**添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度				予定時期	計測方法	その他特記事項			
指標1	定住人口の増加	人	17,360	H29	17,941	R2	確定	●	17,385	△	あり	●	R3.4	住民基本台帳より、基山町の令和3年3月末時点における総人口を集計する。	—
							見込み				なし				
指標2	空き店舗数の減少	件	29	H28 (R2推計値)	19	R2	確定		17	○	あり		R3.11	令和3年10月に基山町商工会が集計する4商店街(基山モール商店街協同組合、けやき通り商店会、木山口商店会、9区ふれあい商店会)の空き店舗数を確認する。	—
							見込み	●			なし				
指標3	基山モール商店街入込客数の増加	人/日	400	H26	600	R2	確定		785	○	あり		R3.12	令和3年11月に基山町が実施するアンケート調査により入込客数を確認する。	—
							見込み	●			なし				
その他の数値指標1	中心市街地の人口	人	4,268	H28	/		確定		4,673	/		R3.4	住民基本台帳より、中心市街地(行政区3区、9区、12区の市街化区域)の令和3年3月末時点の人口を集計する。	—	
							見込み	●							
その他の数値指標2	特定健診の受診率	%	38.4	H26	/		確定		51.7	/		R3.4	令和2年度の特定健診の受診率を把握する。	—	
											見込み	●			

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	目標と整合の図られた数値指標を設定する。
	うまく いかなかった点	・定住人口の増加については、事業対象とした中心市街地地区よりも広い範囲であり効果が発現しにくいことから、対象範囲を中心市街地に絞るべきであった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	まちづくりに住民の意向を取り入れ、持続的に取り組んでいくため、今後も住民・地域団体の参画によるまちづくり機会等を積極的に設定する。
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・適宜、関係各課より、課題の把握と事業の方向性について検討修正をすることにより、情報共有と改善方策の多角的な検討を行うことができた。	今後も庁内の事業において、様々な視点からの検討が必要になった場合は、庁内の横断的な組織による検討が有効である。
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	

### 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

特になし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	基山町ホームページに掲載	令和2年11月2日～30日	令和2年11月17日～30日	担当部署へ郵送、ファックス、電子メールおよび持参	定住促進課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	基山町役場(定住促進課、情報公開コーナー)での閲覧	令和2年11月2日～30日	令和2年11月17日～30日		

住民の意見	意見なし。				
-------	-------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	-	令和2年12月22日	定住促進課	基山町都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	-
その他の委員	鳥飼邦弘(土地家屋調査士)、原則幸(地元住民_第3区区长)、上田昭弘(基山モール商店街協同組合理事長)、益田憲男(木山口町まちづくり協議会会長)、佐藤渉(基山町商工会事務局長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・成果の評価について、妥当であることが確認された。
	実施過程の評価	・実施課程の評価について、妥当であることが確認された。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理について、妥当であることが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表の妥当性が確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当に進められたと確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・駅前ロータリー内送迎用駐車スペースの利用について課題があり、改善に取り組んでいくべきとの意見があった。 ・事業効果を継続したり、より高めるため、商店街内の連携を高める必要があるとの意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップ計画について、妥当であることが確認された。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると確認された。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考してください。

### (7) 有識者からの意見聴取

#### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
該当無し		

有識者の

都市再生整備計画(第1回変更)

基山町中心市街地地区  
(地方再生コンパクトシティ)

佐賀県 基山町

令和2年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	佐賀県	市町村名	基山町	地区名	基山町中心市街地地区	面積	106.9	ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 2 年度					

**目標**  
 日常的に基山駅を利用している7,000人(町人口の約40%)の通勤・通学者を新たな商圏人口として捉え、町内で活動している高齢者等と併せてまちなかへ誘導することで、中心市街地を人が行き交う活気あふれる稼げる場に再生し、駅周辺の生活環境の高まりや多世代が同居する多様な移住政策の好循環による人口増を視野に入れながら、今後高齢化が急速に進む都市の勝ち組モデルとなるような持続可能なまちづくりの実現を目指す。  
 ・新たな商圏人口の獲得  
 ・駅周辺の生活環境の向上  
 ・人が行き交う活気あふれる稼げる場の再生

**目標設定の視座**  
**まちづくりの経緯及び現況**  
**【まちづくりの経緯】**  
 ・本町は、佐賀県の東端に位置し、福岡市、佐賀市へは25~30km圏内にあるため大都市近郊でありながら、歴史・文化・自然が融合した極めて生活環境の質の高いベッドタウンを発生し、周辺都市への通勤・通学者が多く居住している。  
 ・JR鹿児島本線、九州自動車道、国道3号、福岡県道・佐賀県道17号久留米基山筑紫野線が通過する北部九州の交通の要衝の地にあるものの、面積22.15km<sup>2</sup>の3分の2を丘陵地が占め、平野部に住宅地、商業地、工業地等がコンパクトに収まっている人口約17,400人の町である。  
 ・昭和57(1982)年にJR基山駅前モーター商店街が完成し、行政・商業・金融等の機能が集積する中心市街地が形成されたが、平成7.8(1995,1996)年頃から周辺市町に店舗面積2万㎡超の大規模小売店舗の立地が相次ぎ、購買需要の流出に拍車がかかっている。  
 ・昭和40年代から民間による大規模住宅開発が行われて町内の住居系用途地域面積(246.0ha)の44.9%にあたる110.6haが整備されたが、開発の時期が一時期に集中したことにより居住者の急激な高齢化が進行している。  
 ・昭和58(1983)年に策定された「久留米・鳥栖テクノポリス構想」において「鳥栖北部丘陵新都市開発」が位置づけられ、平成15(2003)年度に完了した。当該地区には大型物流施設等が多数立地しており、町内の企業等ももろろんのこと、隣接する鳥栖市に立地した企業の送迎バスもJR基山駅から発着している。  
 ・このようなことから、JR基山駅西側を「中心市街地」に位置付け、商業地としての活力、魅力の向上を高めるとともに、高齢化社会においても生活利便性を担保でき、健康に暮らすことのできるまちなか居住空間の形成を図る。  
**【まちづくりの現況】**  
 ・本町は、人口減少問題に取り組むため、定住人口獲得を目的とした、「基山町定住サブライズプロジェクト」でさまざまな施策を実施した結果、平成29年度に入り人口減少に歯止めがかかっている。今後も移住定住促進事業を継続して行きさらなる定住人口の確保を目指す。  
 ・また、回遊や交流が生まれ賑わいあふれる中心市街地づくりや町民の日常生活を支える便利で暮らしやすい中心市街地づくりのため、平成30年3月認定を目指し中心市街地活性化基本計画を策定しており、中心市街地の機能回復と郊外への拡散防止、公共交通の利用促進を図るため、平成30年度から立地適正化計画の策定に取り組み、計画的な拠点地域の形成及びコンパクトなまちづくりに取り組んでいる。  
 ・農業・産業・健康・スポーツに関する取り組みとして、平成29年度にエミュー等ジビエの食肉処理業の解体処理施設を建築し、それを中核とした連携体制を構築することによって、入口(飼育からと畜)から出口(一般消費者・観光客への精肉・メニュー開発による肉の活用)まで一気通貫して行うこととしている。また、エミューが整地した耕作放棄地に、血糖値を下げる効果があるとして注目されている「クワイモ」の栽培を促進し、本町で盛んにおこなわれているスロージョギングとクワイモの摂取による簡易試験を行っているところであり、今後、食とスポーツによる本町の健康をビジネス化に向けて取り組む。  
**課題**  
 ・過去の大規模な住宅開発による一定の世代の転入が一時期に集中したことにより、近年では急速に高齢化が進み、多世代のふれあいや支え合うことのできる居住環境の形成が求められているが、中心市街地においては様々な住民が知り合い、互いに交流する場、機会づくりが必要である。  
 ・JR基山駅のロータリー内はコミュニティバスに加え、企業や学校の送迎シャトルバス等が集中し交通混雑が日常化しており、事故なども発生している。また、駅から商店街へ向かう通り抜け道路には自転車が多く駐輪されており、歩行者の妨げとなっている。基山町の顔となる駅前空間の整備を行い、駅付近の利用者の利便性の向上、安全性の確保、商店街へのスムーズな誘導が求められている。  
 ・周辺市町への大規模小売店の立地による消費需要の流出が影響し、商業環境は長期的に衰退し、地域経済の一番の集約拠点である基山駅周辺の活力が失われている。  
 ・日常的にJR基山駅を利用する通勤・通学者が、町人口の約40%に当たる7,000人/日もいるにもかかわらず、まちなかへ引き込めておらず、基山駅は目的地の単なる通過点となっている。  
**将来ビジョン(中長期)**  
**【基山町総合計画】**  
 ・目に見える「価値」づくりとして、基山駅など集客力のある地から「住みたい、あこがれのまち基山」の創出を目指している。  
**【新・基山構想(基本構想)】**  
 ・「にぎわい+idea」では、商店街や商工会と連携して魅力ある取組を推進し中心市街地の活性化を図ることとしている。  
 ・「自然+idea」では、基山駅など基山の顔となる集客拠点の周辺整備を行い案内表示板の設置や利便性を生かす取り組みを行うこととしている。  
 ・「安心安全+idea」では、町民一人ひとりが健康管理や病気の予防に取り組むながら健康な暮らしができるまちづくりを目指すとしている。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
定住人口の増加	人	町内居住人口数の比較	駅周辺の生活環境向上、人が行き交う活気あふれる稼げる場に再生	17,360	H29	17,941	R2
空き店舗数の減少	件	平成28年度における令和2年度の空き店舗推計値と目標年度である令和2年度の空き店舗数実測値を比較	新たな商圏人口の獲得、駅周辺の生活環境向上、人が行き交う活気あふれる稼げる場に再生	29	H28 (R2推計値)	19	R2
基山モール商店街入込客数の増加	人/日	モール商店街入込客数の比較	新たな商圏人口の獲得、人が行き交う活気あふれる稼げる場に再生	400	H26	600	R2

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>【新たな商圏人口の獲得】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前ロータリーを整理し、混雑している駅前広場の流れを整理し、人の流れをスムーズに商店街に繋げる。</li> <li>駅前から基山モール商店街への通り抜け道路に駐輪されている自転車を駅前駐輪場に誘導することで、通り抜け道路の駐輪がなくなり、歩きやすい環境を整える。また、通り抜け道路をカラー舗装し、駅前空間と商店街を連続させ、駅利用者にも商店街の存在を認識してもらい、商店街へと誘導する。</li> <li>駅前からまちなかの情報を発信することで、通勤・通学による駅利用者をまちなかに誘導する。</li> <li>空き店舗や既存店舗の空きスペースを活用したチャレンジショップ事業を行うことで、歩きたくるような賑わいあふれる商店街にする。</li> <li>基山モール商店街内のまちなか公民館やグリーンロードを活用し、各種教室やイベントの誘致・開催したり、基山町の特色ある農産品(エミュー、キウイモ)を地元飲食店やイベントの際に提供することで、集客を図り、賑わいあふれる商店街にする。</li> <li>自らの健康づくりの行動が商工会のお買い物ポイントへ交換できるような制度を構築することで、町民の地元購買を呼び戻す。</li> </ul>	<p><b>【基幹事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設：駅前ロータリー整備事業</li> <li>地域生活基盤施設：駅前自転車駐輪場整備事業</li> <li>地域生活基盤施設：街なみ案内サイン事業</li> <li>高質空間形成施設：基山モール商店街への通り抜け道路整備事業</li> </ul> <p><b>【提案事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業：モール商店街にぎわいづくり事業</li> <li>地域創造支援事業：空き店舗(空きスペース)活用チャレンジショップ事業</li> </ul> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基山スマートウェルネス事業(地方創生推進交付金)</li> </ul>
<p><b>【駅周辺の生活環境の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前ロータリーを整備し、混雑している駅前広場の流れを整理することで、コミュニティバス等の定時運行による利便性の向上やロータリー内を通行している歩行者、自転車、自動車等利用者の安全性の確保を図り、基山町の顔としてふさわしい歩きやすい快適空間を創出する。</li> <li>駅前自転車駐輪場の2階も利用しやすいようにエスカレーターを設置し、安全機能を追加して快適な環境を整備することで、通り抜け道路に駐輪している自転車を駅前自転車駐輪場に誘導し、空いたスペースにベンチを設置するなどし、歩行者の滞留空間を創出する。</li> <li>空き店舗・空きスペースバンクシステムを構築することで、空き店舗や既存店舗の空きスペースと新規出店希望者のマッチングを容易に行うことが可能となり、空き店舗の解消による防犯・安全上安心した生活空間を創出する。</li> <li>中心市街地に位置する空きスペースとなる旧役場跡地において、民間活力による地域優良賃貸住宅の整備を行い、中心市街地内への居住者の受け皿の確保を図り、定住促進につなげる。</li> <li>子育てで、若者世帯や新築世帯を対象とした住宅取得補助事業・家賃補助事業を実施し、町外からの移住促進を促す。また、市街化区域内の一定基準を満たす宅地開発区域内道路整備に対し、整備費の一部助成を行い、宅地開発を推進し定住人口に繋げる。</li> </ul>	<p><b>【基幹事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設：基山駅前ロータリー整備</li> <li>地域生活基盤施設：駅前自転車駐輪場整備</li> <li>高質空間形成施設：基山モール商店街への通り抜け道路整備事業</li> </ul> <p><b>【提案事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業：空き店舗(空きスペース)活用チャレンジショップ事業</li> </ul> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス運行事業(地域公共交通確保維持事業)</li> <li>官民連携による地域優良賃貸住宅整備事業(地域住宅計画に基づく事業)</li> <li>定住・住宅開発促進事業(町単独事業)</li> </ul>
<p><b>【人が行き交う活気あふれる稼げる場への再生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前にデジタルサイネージを設置し、そこからまちなかの情報を発信し、歩行者向けまちなみ案内サインを設置することで、町内散策環境を整え、回遊性を高める。</li> <li>自転車駐輪場を整備し、通り抜け道路を歩きやすい空間に変えることで、駅から商店街へのスムーズな人の流れを生みだし、既存事業者へ商圏拡大のきっかけを生みだし、新規事業者に対しては、空き店舗バンクシステム等で新たに基山町で開業しやすいような環境を整備する。</li> <li>4年間空き家であった駅前の文化的価値の高い建造物をリノベーション。そこを拠点として「基山の街を感性を育てる土壌として耕すこと」をミッションとした基山フューチャーセンターラボ(任意団体)が若者や子育てママをターゲットとし地域について語り合える場の提供を行い、まちなかから情報発信を行っている。</li> <li>地元飲食店が、基山町の特色ある農産品(エミュー、キウイモ)を使った商品開発を行うことで、取り扱い店舗の売上額増や新たな顧客の確保に繋げる。</li> </ul>	<p><b>【基幹事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設：駅前自転車駐輪場整備</li> <li>地域生活基盤施設：街なみ案内サイン整備</li> <li>高質空間形成施設：基山モール商店街への通り抜け道路整備事業</li> </ul> <p><b>【提案事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業：空き店舗(空きスペース)活用チャレンジショップ事業</li> </ul> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基山スマートウェルネス事業(地方創生推進交付金)</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	
<p><b>【まちづくりの住民参加】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、地区内には、「基山モール商店街協同組合」「木山口商店会」「けやき通り商店会」「9区ふれあい商店会」等の団体により、「きのくに祭り」「きやまKappo」「基山おさんぼマルシェ」等の地域にあった事業を行ない、その他、JA基山支所敷地内では「青空市」が開設されており、商工会では駅前美化運動を常時行うなど、にぎわいの創出に努力している。</li> <li>4年間空き家であった駅前の文化的価値の高い建造物をリノベーション。そこを拠点として「基山の街を感性を育てる土壌として耕すこと」をミッションとした基山フューチャーセンターラボ(任意団体)が若者や子育てママをターゲットとし地域について語り合える場の提供を行い、まちなかから情報発信を行っている。</li> </ul> <p><b>【官民連携体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇行政がハード事業を行うことで、基山駅利用者や商圏人口として捉えることが可能となり、既存事業者の商圏拡大のきっかけを生みだし、新規事業者が新たに基山町で開業しやすいような環境を整備する。</li> <li>〇町の政策課題(健診車の伸び悩み、高齢者の引きこもり、地元食材の消費拡大等)の解決手段として健康マイレージ制度を活用。自主的な健康づくりの行動が商工会のお買い物ポイントへ交換できるようになることで、町民の地元購買を呼び戻す。</li> <li>〇基山モール商店街に「にぎわいづくり事業」(株)まちづくり基山と連携し、商店街のまちなか公民館やグリーンロードを活用したイベント企画・運営を実施。町が行うイベントや施策を駅前に集約することで更なる集客を図る。</li> <li>〇空き店舗(空きスペース)活用チャレンジショップ事業：基山町商工会、(株)まちづくり基山と連携し、空き店舗(空きスペース)バンクシステムを構築し、マッチングが成立したものに、一定期間の家賃補助や店舗の改修費用の補助を行い、新規出店支援の実施</li> <li>〇基山スマートウェルネス事業：健康マイレージ制度と商工会のお買い物ポイントを連携し、相互利用促進を図る。また、商工会、(株)きやまファームと連携し、基山の特色ある農産物(エミュー肉、キウイモ)を提供し、生産促進と消費拡大を図る。</li> <li>〇駅利用者がまちなかに誘導され駅周辺の賑わいが生まれることで、駅周辺地区の土地利用価値が高まり、空き店舗、空き家を活用した新たな事業が創出されるなど波及効果が期待される。</li> </ul> <p><b>【政策関連連携体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇駅前ロータリー整備に伴うバス停の増設や、駐輪場機能強化に伴う防犯に関する協議、通り抜け道路への付加機能の検討、町内の既存案内サインとデザイン統一に係る協議など、関係各課と連携し事業を遂行する。(建設課、定住促進課、総務企画課、産業振興課、教育学習課)</li> <li>〇現在定住促進課で管理運営している「空き家バンクシステム」を参考に、空き店舗(空きスペース)バンクシステムの構築を図るとともに、最終的にはバンクシステムの一元化に向けて調整を行う。(定住促進課、産業振興課)</li> <li>〇基山スマートウェルネス事業…スロージョギングによるダイエットキャンプの際、キウイモ摂取による健康効果を付与することで、基山町独自の特色あるイベントを行うことができる。(まちづくり課、健康福祉課)健康マイレージ制度を構築し、たまったポイントを商工会のお買い物ポイントへ交換する。(健康福祉課、定住促進課、まちづくり課、産業振興課)</li> </ul>	

#### 都市再生整備計画事業以外の取り組み

##### 【都市再生コーディネート等推進事業の活用内容】

コンパクトシティ事業計画の実施に当たり、全国で多くのまちづくりを支援されているUR都市機構に事業実施に係る関係者間の調整からコーディネート等まで一貫した支援・アドバイスを受け、全国の好事例を基山町に取り入れる。

##### 【地方創生推進交付金事業の活用内容】

健康づくりの指針を定め、孤立化を防ぐための外出機会の創出や人と関わる居場所づくり、地域の担い手となるコミュニティの形成により、「健康のまち基山」の実現を目指す。そのため、健康マイレージ制度の導入、基山産の健康食材であるエミュー肉やキウイモとスポーツを組み合わせたダイエット合宿や特色あるイベントを開催するなどし、健康で生きがい創生のまちづくり(＝健康のまちづくり)の実現を推進する。

##### 【その他の事業の内容】

<コミュニティバス運行事業(継続事業・地域公共交通確保維持事業(国土交通省))>

日々の買い物や通院等移動手段としてのみならず、趣味や習い事、交友の場等外出の機会を増やし毎日を元気に生き生きと過ごすことを願い、平成26年7月から町内2路線で本格運行を開始している。

<官民連携による地域優良賃貸住宅整備事業(H30新規事業・社会資本整備総合交付金(国土交通省))>

中心市街地に位置する旧役場跡地において、民間活力による地域優良賃貸住宅の整備を行い、中心市街地内への移住者の受け皿の確保を図り、定住促進に繋げる。

<定住・住宅開発促進事業(継続事業・町単独事業)>

子育て・若者世帯を対象とした住宅取得補助事業や、新婚世帯を対象とした家賃補助事業を実施し、町外からの移住促進を促す。また、市街化区域内の一定基準を満たす宅地開発区域内道路に対し、整備費の一部助成を行い、宅地開発を推進し定住人口増に繋げる。

